

案件概要書

2014年2月25日

国際協力機構南アジア部南アジア第四課

1. 案件名（国名）

国名： バングラデシュ人民共和国

案件名： 廃棄物管理機材整備計画（The Project for Provision of Solid Waste Management Equipment）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における廃棄物セクターの現状と課題

バングラデシュでは、都市への人口集中や市街地の拡大が急速に進み、それに伴い都市における廃棄物、大気汚染、スラム拡大など都市環境の悪化が深刻な問題になっている。とりわけ首都の南ダッカ市、北ダッカ市（以降、南北ダッカ市とする）及び第二の都市であるチッタゴン市では、人口急増と経済発展に伴う廃棄物の増大による住環境の悪化が緊急な課題である。同国政府は、南北ダッカ市において廃棄物マスタープランの策定、収集車輛の増加、処分場整備等を図ってきたが、チッタゴン市を含め、廃棄物管理に係る行政機関の実施体制の脆弱さ、計画の欠如、廃棄物収集運搬や清掃に関する機材の不足、住民の衛生意識の低さ等、依然として課題を抱えており、都市環境改善のための適切な廃棄物管理が必要とされている。中でも、南北ダッカ市、チッタゴン市の保有する廃棄物収集車輛は老朽化したものが多く、廃棄物発生量の増加から南北ダッカ市における回収率は依然 5 割程度に留まっている。

(2) 当該国における廃棄物セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

国家開発戦略の最上位に位置づけられる「第 6 次五か年計画（2011～2015 年）」において、市役所が取り組む重要課題として廃棄物管理の改善が位置づけられている。本案件はこうしたバングラデシュ政府の政策に合致し、都市環境の改善を目指すものであり、実施の必要性は高い。

(3) 廃棄物セクターに対する我が国の援助方針

対バングラデシュ国別援助方針（2012 年 6 月）における重点分野として、「中所得国化に向けた、全国民が受益可能な経済成長の加速化」を掲げ、その中で「都市開発」が開発課題として定められ、廃棄物関連の支援を行う方針となっている。

(4) 他の援助機関の対応

ADB は、2011 年から 7 市（北ダッカ、南ダッカ、チッタゴン、ポリシャル、クルナ、ラッシャヒ、シレットの各市）を対象に二次運搬場の整備を支援中。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

対象地域で使用する廃棄物収集車輛の調達を行うことにより、廃棄物収集運搬能

力の改善を図り、もって地域の生活環境改善に寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

北ダッカ市、南ダッカ市、チッタゴン市

(3) 事業概要

- 1) 機材調達：廃棄物収集車輛、排水溝・道路清掃用機材、維持管理用機材
- 2) コンサルティングサービス（実施設計、調達監理、コミュニティに対する啓発活動支援）

(4) 事業実施体制

事業実施機関：北ダッカ市、南ダッカ市、チッタゴン市

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類：C
- ② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進等：特になし

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：本案件に関連した我が国支援実績として、技術協力では「ダッカ市廃棄物管理計画策定調査」（2003～2006年）及び「ダッカ市廃棄物管理能力強化プロジェクト」（2007～2013年）、無償資金協力では「ダッカ市廃棄物管理低炭素化転換計画」（2009年）（本案件の前フェーズに相当）がある。また、今後、技術協力プロジェクトにて実施機関の廃棄物管理能力の向上を図るとともに、協力隊派遣を通じ住民に対する衛生教育、啓発活動を行う。

(7) その他特記事項：特になし

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

過去の当該セクターにおける事後評価結果（ベトナム「ハノイ市廃棄物管理機材整備計画」等）によると、無償資金協力の案件形成にあたっては、技術協力等との有機的連携を図りつつ、高いモデル性を有し波及効果やビジビリティを發揮し得る案件の形成に引き続き努めることが重要との教訓が得られている。

(2) 本事業への教訓

本案件では、技術協力プロジェクトと連携することにより、機材調達のみならず、収集・運搬、安全管理、啓発等を含め、総合的に廃棄物管理能力の向上を図り、他都市への波及効果が期待されるモデル性の高い支援を展開する。

以上

〔別添資料〕地図

廃棄物処理機材整備計画地図

